

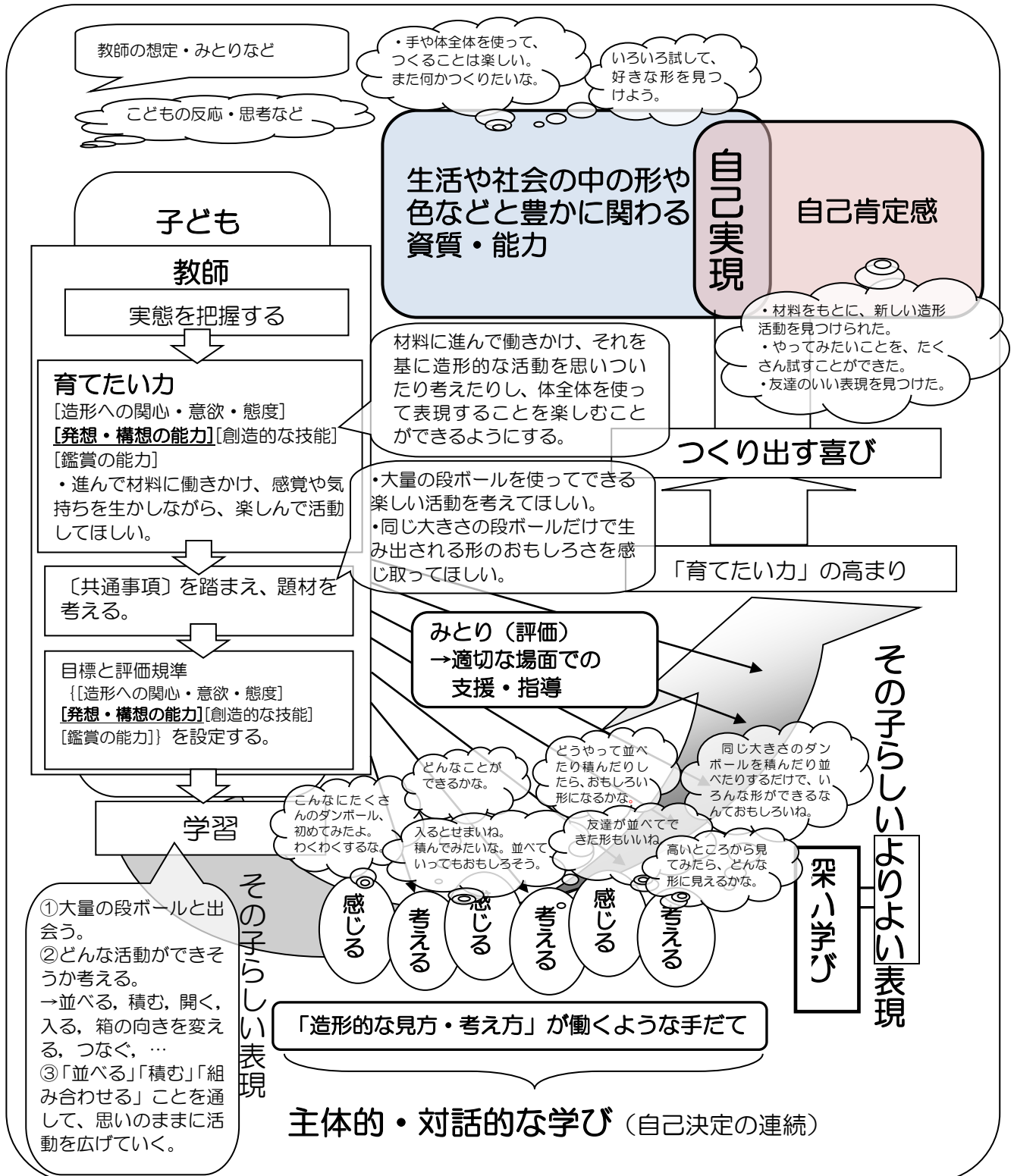
第2学年2組 図画工作科学習指導案

指導者 川崎市立四谷小学校

原 美由紀

1. 題材名 「だんだん だんだん ダンボール」 A表現(1) 造形遊び 2時間扱い

2. 「その子らしいよりよい表現」につながる授業の構想



3. 活動場所 体育館

4. 題材観

(1) 子どもたちの実態

本学級の児童は、図画工作の学習を楽しみにしており、どの題材にも意欲的に取り組んでいる。鑑賞題材で、顔に見える形を探す活動を楽しんでからは、「ここにもあった。」「あそこにも。」と報告に来るなど、休み時間にも別の日にも続けている子どもたちである。



「ひみつのたまご」では、「ひみつ」からイメージを膨らませ、たまごとそこから生まれるお話を絵に表した。多くの児童が、次々にかきたいものを思い付いてかき広げていた。一方で、「〇〇をかいてもいいの?」と一つ一つ確かめ安心してからでないとかけなかったり、たまご=動物が一匹(羽)生まれるという概念から、表したいことが広がらず手が止まってしまったりする児童も少なからずいた。「ひかりのプレゼント」では、校庭で色水と透過性のある容器を使って、光を通して映る形や色の見え方を楽しんだ。慎重すぎるあまり、どんどん色水をつくって容器に注いでならべたり、重ねたりと活動を思い付いて楽しむまでに時間を要した。また、特定の場所と友達で小ちんまりと活動している様子があった。

このような実態を踏まえ、体全体で感じたり考えたりする造形的な活動を通して、友達と一緒に材料に働きかけ、楽しみながら活動し自分らしい造形的な表現を追求したり発見したりしてほしいと考え、本題材を設定した。

(2) 題材と育てたい力

育てたい力：発想・構想の能力

本題材は、身近にある段ボールを材料として、体育館という広い場所で活動する。体全体を使って思いのまま表現する心地よさや、一人一人が思い付いたことを自由に試し発想を刺激し合いながら、造形活動を行う楽しさを十分に味わわせたい。

導入では、材料の段ボールをもとに「どんな活動ができそうか」考え、試す時間を十分にとる。ここでは、危険を伴う「投げる」という行為以外認めたいと考えている。段ボールを手にしたときに子どもたちは、並べる、積む、入る、敷いて寝転ぶ、つなげて通る、キャタピラにして遊ぶ、身につける、穴からのぞくなど、様々な活動を始めるはずである。形を意識できるような投げかけをすることで、それらの活動を通して、体全体で形を捉えていくことができると考える。また、段ボールの造形的な材料としての可能性を発見する時間にもなると考える。

その後、体全体をつかってかかわり形を捉えた段ボールを、並べて置いたり、積んだり、組み合わせたりという行為に限定して、おもしろい形をみつけていく。活動のイメージを広げることが容易にできるため、表現することの喜びを感じることができる。この経験は、進んで材料に働きかけるなど造形への関心・意欲・態度につながっていくと考える。

子ども達同士の会話や、互いを認め合う場面が生まれるように、学習を展開していきたい。友達の見方や感じ方のよさに気づき、自分の思いがさらに広がっていく活動にすることで、発想・構想の能力の育成につなげたいと考えている。

(3) 造形的な見方・考え方が働くような手立て

～「その子らしいよりよい表現」につなげるために～

① 材料：大量の段ボール

材料である段ボールを約450個用意する。今年度再生整備工事に伴う引っ越しで使った、開くと簡単に箱の形ができ上がる段ボールである。たくさん用意することで、「どんどん〇〇してみたい。」というこれから始まる活動への期待を、より感じるができるようにする。

全て同じ大きさの段ボールであるため、並べたり積んだりしたときの形には、美しさを感じられると考えている。

② 材料と触れ合って楽しむ十分な時間の確保

まずマイ段ボールを5つ渡し、活動を考える時間をとる。様々な角度から形を見たり、友達のマイ段ボールと組み合わせせてみたりして、どんなことができそうか考えるだろう。そして大量の段ボールと出会い触れることで、マイ段ボールだけでは思いつかなかったことにも、活動が広がっていくはず

である。体全体を動かして段ボールとかがわかることができるよう導入で材料と触れ合う時間を十分確保することで、子どもたちの造形活動への意欲を高められるようにする。

材料の段ボールの強度は弱いため、この時間に簡単に曲がったりつぶれたりやぶれたりと変形することが考えられる。その変形したのからおもしろい形を思い付き、活動を広げていくことにもつながるのではないかと考えている。

③ いつもとちがう！広い空間での活動

体育館で学習を進める。子ども達にとって体育館は特別で、行くだけでわくわくする場所である。天井が高くフロアも広い空間で活動することで、思い付いた活動をダイナミックに展開していくことができるようにする。

④ 友達の活動が目に入る場の設定・一度に持ち運べる材料の制限

フロア中央に、材料置き場を設置する。また、一度にそこから持ち出してよい段ボールの数を限定する。子ども達が何度も材料を取りに行くことで、友達と会話ができたり、友達の活動する様子が自然と目に入ったりし、自分の活動もさらに工夫してみようと思えることができるようにする。

⑤ 加工した段ボールをしのばせておく

材料置き場には、開くと簡単に箱になる段ボールを閉じた状態で置く。その中に、底部分の糊を剥がしたトンネル型のもの、トンネル型の一辺を切った一枚の平面になるものを数枚しのばせておく。手にした子どもは、思いもよらない形状の段ボールと出会い、「こうやって使う方法もあるんだ。」と感じ、新たな活動の発想の起点になると考える。加工した段ボールをしのばせておくことで、段ボールを基にした活動をより考えられるようにする。

⑥ 視点を変えて、形を捉えられる場と時間

子ども達は、目の前のことに夢中になって活動する。常に同じ視線の高さと距離で、対象の形をとらえているといえる。角度や距離など視点を変えてつくり出した形を捉えられる場として、周りにはひな壇を置く。ひな壇とステージには、活動中自由に上って鑑賞してよいことにする。最後には、みんなでキャットウォークから鑑賞する時間を設けることで、下にいるときには分からなかった形のおもしろさに気付けるようにする。

(4) 題材のねらい

○同じ大きさの段ボールを並べたり積んだり組み合わせたりして、思い付いたことを試しながら、造形活動を楽しむ。

5. 題材の評価規準 ～ 4つの観点から育てたい力を考える ～

造形への関心・意欲・態度	発想・構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
○段ボールを使ってやってみたいことを見つけ、活動することを楽しもうとしている。	○段ボールを基に、活動を思い付いたり、考えたりしている。	○段ボールの並べ方や積み方、組み合わせ方を工夫している。	○友達に話したり友達から聞いたりして、段ボールで形づくる楽しさや活動の面白さを感じている。

6. 準備

[教師] 段ボール、クラフトテープ (カラー)、カラーペン

7. 指導と評価計画（2時間扱い）

	◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応	○教師のかかわり・手だて ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て	評価規準【 】と 評価方法（ ）
1次 90分 (本時2/2)	◇段ボールを使って、造形活動をすることを知る。	◎体育館で活動することを伝える。 ◎大量の段ボールを提示し、意欲を高められるようにする。	
図この時間+ダンボール=おもしろいこと どんなことができるかな？			
	◇体育館で段ボールを使って、どんな活動ができそうか考える。 ・積み重ねてみたい ・どんどん並べて置いてみたい ◇思いついたことを試して遊ぶ。 ・底をぬくと、トンネルみたいになるね ◇試して遊んだことを、紹介し合う。	○材料置き場の段ボールの山を見てできそうだと考えたことを共有することで、試す時間のヒントとなるようにする。 ○一人5つ段ボールを手に取り、マイ段ボールで何ができるか考える。その段ボールを基に、活動を考えるよう投げかける。 ○「並べる」「積む」「組み合わせる」などという言葉を引き出し、子どもの試した活動から、次の活動のめあてにつなげる。	【関】段ボールを使ってやってみたいことを見つけ、活動することを楽しもうとしている。 (発言・つぶやき)
だんだん積んでいって、だんだん並べていって、 ダンボールでできるおもしろい形を見つけよう			
	◇段ボールを使って、積んだり並べたり組み合わせたりして活動する。 ・もっと高くしたいな。 ・どんどん並べたら、道みたいになったよ ・箱の向きを、たて・よこ…交互に積んでみよう。 ・こっちから見ると、全然形が違うね。 ・トンネルみたいにしてみよう。 ・やりたいことが思いつかない。 ◇キャットウォークから、鑑賞する。 ・下にいるときとは違う形に見えておもしろいね。 ◇めあてにそって活動の振り返りをする。	◎材料置き場は、活動の場の真ん中になるように設置する。 ◎底部分の糊を剥がしたトンネル型のもの、トンネル型の一辺を切った一枚の平面になるものを数枚しのばせておく。 ◎段ボールはいくつ使ってもよいこと、材料置き場から一度に持ち運んでよいのは3つまでであることを伝える。 ◎ひな壇やステージの上から、自分がつくった形を見てよいことを伝える。 ○箱同士をつなぎ合わせたいという発言が聞かれたら、クラフトテープを用いてもよいことを伝える。 ○一緒に段ボールを材料置き場へ取りに行き、友達の活動が目に入るようにし、活動を促す声をかける。 ◎みんなでキャットウォークから鑑賞し、下にいるときには分からなかった形のおもしろさに気付けるようにする。	【発】段ボールを基に、活動を思い付いたり、考えたりしている。 (つぶやき・活動) 【創】段ボールの並べ方や積み方、組み合わせ方を工夫している。(活動) 【鑑】友だちに話したり友人から聞いたりして、段ボールで形づくりの楽しさや活動の面白さを感じている。 (つぶやき・発言)

8. 本時の活動（2/2時間 本時45分）

（1）本時のねらい

○同じ大きさの段ボールを並べたり積んだり組み合わせたりして、思い付いたことを試しながら、造形活動を楽しむ。

（2）本時の展開

◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応	○教師のかかわり・手だて ◎造形的な見方・考え方が働くような手立て	評価規準【 】と 評価方法（ ）
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>だんだん積んでいって、だんだん並べていって、 ダンボールでできるおもしろい形を見つけよう</p> </div>		
<p>◇前時の活動を振り返る。</p> <p>◇段ボールを使って、積んだり並べたり組み合わせたりして活動する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入ったときに破れた角のところから広がっていく感じに並べよう。 ・もっと高くしたいな。 ・どんどん並べたら、まっすぐな道とぐにゃぐにゃ道ができた。 ・箱の向きを、たて・よこ…交互に積んでみよう。 ・こっちから見ると、全然形が違うね。 ・並べた段ボールを積んでいったら、ピラミッドみたいな形になった。 ・体育館の角に合わせて積んでいったら、秘密基地みたいになるかな。 ・底ぬけのダンボールを組み合わせ、長いトンネルみたいにしよう。 ・やりたいことが思いつかない。 <p>◇キャットウォークから、鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下にいるときとは違う形に見えておもしろいね。 ・体育館のゆかに、段ボールで絵をかいたみたいになっているよ。 <p>◇めあてにそって活動の振り返りをする。</p>	<p>○並べ方、積み方に工夫が見られる形を取り上げて紹介する。</p> <p>○「積んでできるおもしろい形」「並べてできるおもしろい形」「積む・並べるの合わせ技でできるおもしろい形」を視点として提示し、形に着目して活動を進めていけるようにする。</p> <p>○おもしろいと思う自分の感じ方を大切にすることを伝え、共同作業にならないようにする。</p> <p>◎材料置き場は、活動の場の真ん中になるように設置する。</p> <p>◎底部分の糊を剥がしたトンネル型のもの、トンネル型の一辺を切った一枚の平面になるものを数枚しのばせておく。</p> <p>◎段ボールはいくつ使ってもよいこと、材料置き場から一度に持ち運んでよいのは3つまでであることを伝える。</p> <p>◎ひな壇やステージの上から、自分がつくった形を見てよいことを伝える。</p> <p>○箱同士をつなぎ合わせたいという発言が聞かれたら、クラフトテープを用いてもよいことを伝える。</p> <p>○一緒に段ボールを材料置き場へ取りに行き、友達の活動が目に入るようにし、活動を促す声をかける。</p> <p>◎みんなでキャットウォークから鑑賞し、下にいるときには分からなかった形のおもしろさに気付けるようにする。</p> <p>○自分の頑張ったこととともに、見つけた友達の頑張りや素敵な考えを話すよう伝える。</p>	<p>【発】段ボールを基に、活動を思い付いたり、考えたりしている。 (つぶやき・活動)</p> <p>【創】段ボールの並べ方や積み方を工夫している。 (活動)</p> <p>【鑑】友達に話したり友達から聞いたりして、段ボール箱で形づくる楽しさや活動の面白さを感じている。 (つぶやき・発言)</p>